

5月、学びの基盤づくりをしよう！！

新緑が美しい季節となりました。新学期が始まり一か月、子どもたちの様子はいかがでしょうか。子ども同士、担任と子どもたちの関係性も確立し、授業も軌道に乗り始めたころではないでしょうか。昨年はコロナ禍で実施できなかった授業参観や家庭訪問などそれぞれの学校の実情にあわせ、いろいろな工夫をして実施にこぎついたり、様々な制約の中で小学校での運動会、中学校での中体連などに向けてコロナ対策を練りながら子どもたちの指導にあたりたりしている先生方の頑張りに感謝します。

子どもたちの中には、このゴールデンウィークを家族で思う存分楽しむことができた子がいる一方で、もしかすると自分で昼食を準備し、一人で一日を過ごした子もいたのではないかと考えてしまいます。様々な過ごし方をした子どもたちの様子をしっかりと観察し、一人ひとりに寄り添いながら、学校生活が楽しいと感じられるような言葉かけに努めることが大切です。表情や言動がこれまでの様子と違っていたら注意して見守り、必要な支援を講じていかなければいけません。

5月は『一人ひとりに心の居場所のある、安心して学べる学級づくり』を進めていくことが学級経営のポイントになります。「居場所がある」というのは自分が友達や先生から受け入れてもらえているという安心感に裏付けされた感覚です。重要なポイントです。

子どもたちの教育をつかさどる私たち教師。さて一教師として、一社会人としての自分は？振り返ってみましょう。

㊦いさつができ

挨拶や返事は人をつなぎます。

㊧を見て人の話を聞き

相手の目を見て話をし、聞くのは社会人として基本姿勢です。

㊨ッコリ笑顔で

共感的な人間関係づくりに笑顔は大切です。

㊩く標を高く持ち

前向きに。そして向上心を持って。

㊪けてもくじけず

うまくいなくてもくさらず。反省を次に生かす。

㊫んかをせずに

まず話を聞く。批判的で偏見があると衝突を生みます。

㊬っと続ける

継続力。自己存在感を作る。

いかがですか？採点は？

温かな人間関係作りに努めよう

- 子どもたちと一緒に笑いましょう。
 - ・心理学的にも笑いを共有することで集団としての意識と団結力がアップするといわれています。心の距離は縮まり、クラスに一体感が生まれます。
- 人間関係づくりを意図的に進めましょう。
 - ・Q-U心理検査結果を活用しましょう。
- 子ども一人ひとりが互いの良さを知り、認め合う時間を作りましょう。
 - ・構成的グループエンカウンターの方法を取り入れます。

授業の充実に努めよう

- 基本的なルールを守れるように繰り返し丁寧に支援していきましょう。
 - ・話の聞き方、話の仕方、机上の準備、学習の進め方、ノートのとおり方など。
- 認め合える関係を育てましょう。
 - ・授業の中で、ペアや4人グループであるいは全体で学び合う場を意図的に設け、子ども同士が関わり合い、認め合い、高め合う喜びを味わわせていきます。
- 授業中の子どもたちの視線を意識して、目と目につながりましょう。アイコンタクト!!

「笑顔・喜び・感動」を

～第一回市立学校長会議・教頭研修会～



第一回校長会議と教頭研修会が4月26日、30日にそれぞれ行われました。

「今年度こそは〇〇を頑張ろう」「これからは〇〇に力を入れてみよう」「今までの生活を〇〇のようにしていこう」等、新たな夢や希望を胸に抱いて学校生活をスタートした子どもたちがのびのびと毎日を過ごせるよう校長先生や教頭先生のリーダーシップのもとワンチームとなって取り組んでいきたいものです。

《 校長会議の中から 》

○コロナ禍の中で子ども・教職員の命、健康安全を最優先に対応する。

- ・感染拡大防止に向けて柔軟な対応を。
- ・「感染リスクがある活動は基本的に中止」ではなく「可能な限りの感染防止策を講じ、子どもの学びを保障する」へ。

○子どもの学ぶ権利を一人残らず保障し、子どもの学びと育ちに責任を持つ。

- ・授業と授業研究を第一優先に。
- ・学校の使命、教職員の責任を自覚し、子どものすべてを引き受け、教職員にとって生命（いのち）である日々の授業を「主体的・対話的で深い学び」に挑戦し、質の向上を!!

○ICT 機器を積極的に活用する。

- ・プロジェクターや指導者用デジタル教科書、端末機器の効果的な活用を。
- ・「ICT 活用の手引き」の活用。そして校内での研修を充実させ情報の共有化を。

○働き方改革を推進する。

- ・リーフレット「須賀川市の働き方改革2021」参照。全教職員の共通理解のもと取組の推進を。

教育長のあいさつの中に「教職員が一丸となり保護者や地域の方々との理解を得ながら、みんなが笑顔で喜びあふれる感動を持てる1年にしてほしい。」というお話がありました。学校の主役、子どもたちが過ごす教室にも、その子どもたちを育む先生方が過ごす教室、職員室にも笑顔があふれる学級・学校経営に努めていきたいものです。



年度末の人事異動で新たな組織となりましたが、経験年数や立場の違いはあっても、先生方みんなが安心して挑戦できる雰囲気があり、失敗しても「もう一度やってみよう。」という温かい励ましがあれば学校に活気が生まれるのではないのでしょうか。

教育研修センターの積極的な活用を！

日々、「子どもたちのために」「子どもを真ん中」においた教育に奮闘している先生方のお役に立ちたいと考え、今年度も教育研修センターでは、教科教育や特別支援教育、セミナー研修などの開催を予定しています。「もっと子どもたちのためによい授業がしたい」と願っている経験年数の浅い先生方を対象にした「ジャンプアップ研修」はすでにスタートし、一人ひとりの先生方のニーズに応じた研修が進められています。どうぞご活用ください。

<須賀川市教育研修センターTEL (0248) 72-7185・FAX (0248) 72-7186>